

# ウィルグループ、株式会社オルツと人工知能技術を活用した「AIリクルーター（採用担当）」の共同開発を開始

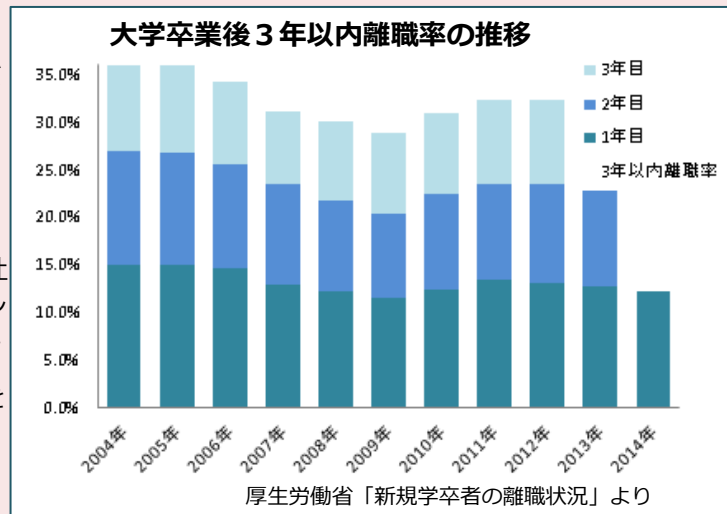
人工知能（AI）技術を活用した国内初のAIリクルーター開発により  
就活生・転職希望者に「どんな質問でもしやすい」環境を準備

人材サービスを主力とする、株式会社ウィルグループ（本社：東京都中野区、代表取締役社長 池田 良介）は、人工知能開発の株式会社オルツ（本社：東京都江東区、代表取締役社長 米倉千貴）と、人工知能技術を活用した採用活動を実施していくための共同開発を開始します。**人工知能技術を活用したサービスの提供は2017年卒新卒採用から開始の予定です。**なお、本件により開発した人工知能は、ウィルグループの主力サービスである人材事業に対しても親和性が高いと考えられるため、開発後は人材事業における活用も検討しています。

**大学を卒業した新卒社会人の3人に1人が入社3年以内に退職する現状。人工知能がかなえることは、訊きづらいことが訊ける。言いづらいことも言える就職活動。不安をキッチリ解消した上での就職を実現！**

企業の採用担当者（リクルーター）と就職活動生は、採用・就職後に互いのギャップが起きないように、さまざまな内容のやり取りが必要とされます。そのやり取りの中では、「将来のビジョン」や「組織の風土」のような定性的なものから、「初任給」や「男女比率」、「福利厚生」など定量的なものまでを広くカバーする必要があります。ただ、中には、就職活動生にとって訊きづらい質問があるとされています。たとえば「転職の有無」や「配属にどの程度希望が通るのか」といったものです。のちのちギャップになりうる内容であるため企業としてもあらかじめ気になるようであれば質問してほしいと思っても、一部の就職活動生にとっては心理的障壁があり、それが離職につながる可能性もあります。

厚生労働省のデータでは大学卒業後新卒学生の3人に1人が入社から3年以内に退職をしています。ウィルグループでは、こうした早期離職は就職時のギャップにより起きるものも多いと考え就職活動生にとっての「訊きづらいかもしれないこと」を、AI技術を活用し開発されたAIリクルーターに質問できる環境をご用意することで「ギャップのない就職」、ウィルグループにとっての「ギャップのない採用」にさらに努めるべく、このたびの共同開発を決定しました。



**採用活動に関わる180人の社員が採用活動でやりとりしてきたログをインポートし分析。また、それらの社員による想定問答への回答により、社員よりもウィルグループを知るAIリクルーターを作りあげ、「模範的なウィルグループ社員」の回答を行います。**

オルツはこれまで、人格を持つ人工知能（Personalized Artificial Intelligence：略称「P.A.I.」）の構築に取り組んできました。ウィルグループは今回その技術を用い、AIリクルーターの共同開発を行います。

ウィルグループはこれまで、採用・就職のギャップ防止のため採用権限のない社員と就職活動生が複数回面談する「リクルーター制度」を行ってまいりました。これまでウィルグループの各メンバーに蓄積されている知識と経験を、人工知能を用いて継続的に分析し、ウィルグループのメンバーがこれまで行ってきた判断や回答と、同様の判断や回答を行うことができる人工知能システム「エキスパートシステム」として再構築することにより、就職活動生は、質問しづらい内容が質問できること、24時間365日いつでも採用窓口アクセスできることが可能になるため、就職ギャップのさらなる軽減が実現されます。

■株式会社オルツについて

WEB：<http://alt.ai/>

al+に関するCEOのメッセージ：<http://alt.ai/ceomessage.html>

【取材お申込み・お問合せ】株式会社ウィルグループ ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

経営企画部 広報担当 大橋

TEL: 03-6859-8883

FAX: 03-6859-8887

MAIL: [info@willgroup.co.jp](mailto:info@willgroup.co.jp)